

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

● **NUDT15 遺伝子コドン139多型解析** (依頼コード No.13152)

受託開始日 2019年2月18日(月) 受付分より

NUDT15(Nudix hydrolase 15)は、酸化により損傷したDNAの塩基を分解する酵素で、炎症性腸疾患や白血病などの治療に用いられるチオプリン製剤の代謝に関与しています。NUDT15遺伝子コドン139に存在する多型によって酵素活性が変化することが知られており、コドン139のアルギニン(Arg)がシステイン(Cys)やヒスチジン(His)となる遺伝子型では、酵素活性の低下が見られ、特にシステインのホモ接合体では、チオプリンの代謝活性低下によって重篤な副作用の発生リスクが高いことが報告されています。

本検査は、NUDT15遺伝子コドン139に存在する多型[c.415C>T(rs116855232)およびc.416G>A(rs147390019)]をリアルタイムPCR法で検出し、3種類のアミノ酸(Arg、Cys、His)をコードする塩基配列を判定します。

本検査によりNUDT15遺伝子コドン139のアレルを判定することは、チオプリン製剤の副作用の出現を予測し、投薬の可否および投薬量等の判断に有用です。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1

☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book



Google play



Available on the
App Store



電子カルテはビー・エム・エル

Qualis
Medical Station

受託要領

依頼コードNo.	13152
検査項目名	NUDT15 遺伝子コドン139多型解析
検体必要量	血液 2.0 mL
容器	B-30(EDTA2K加血)
検体の保存方法	冷蔵、開封厳禁
所要日数	3~12
検査方法	リアルタイムPCR法
基準値	ARG/ARG
単位	なし
報告範囲 (報告形式)	ARG/ARG、ARG/CYS、ARG/HIS、 CYS/CYS、CYS/HIS、HIS/HIS ----- NUDT15遺伝子のコドン139がコードする塩基配列を検出し、 3種類のアミノ酸(アルギニン、システイン、ヒスチジン)に変換 して報告いたします。
検査実施料/判断料	2100点/125点(血液学的検査) ----- 本検査は、難治性の炎症性腸疾患、急性リンパ性白血病等の 患者であって、チオプリン製剤の投与対象となる患者に対して、 その投与の可否、投与量等を判断することを目的として、リア ルタイムPCR法により測定を行った場合、当該薬剤の投与を 開始するまでの間に1回を限度として算定できる。
備考	本遺伝子多型解析は、ファーマコゲノミクス検査(PGx)対象 項目であり、通常の臨床検査項目に準じた取り扱いが可能です。 匿名化受付や親展報告をご希望の場合は、別途ご相談ください。

【参考文献】

Moriyama T. et al.: Nature Genet. 48, 367-373, 2016.

Kakuta Y. et al.: J Gastroenterol. Doi: 10.1007/s00535-018-1486-7, 2018.

Tanaka Y. et al.: Br J Haematol. 171, 109-115, 2015.